

熊谷 章文様

令和8年2月 吉日
阿智村を愛する一住民

実は、私は章文さんの言動を応援していた一人でした。インターネットで岡庭一雄元村長を名指しで糾弾したことです。私も岡庭一雄氏の強引な村政、私利私欲、女性関係を含め平気で行政を行いながら、世間では自治活動の先駆者のように評価されることに違和感を感じていました。

しかし、村民を始め、私も含め（個々の関わりの時は否定）意見を述べる者はいませんでした。そんな中、堂々と発信されたことに敬意を感じていました。しかし、議会で取り上げられたり、岡庭一雄氏本人から名誉毀損の訴えもなく置き去りにされました。心中を察するに余りあるものを感じていました。

そんなとき、岡庭一雄氏の院政を見抜き、議会に意見を言う方が現れました。章文さんの訴えも取り上げていました。それにより、村民の燦っていた思いを表に出してくれました。初期の章文さんと一緒です。彼は、昨年亡くなりました。

分かってきたことは 岡庭一雄氏の手先として、佐々木氏、大島氏、吉田氏、を中心に議会（～ R711 月まで）を牛耳っていました。それになびいた議員もいました。熊谷秀樹村長はその犠牲者です。彼らは陰に岡庭一雄氏の虎の威を借りて、また、岡庭一雄時代に雇用した共産系職員の活用、信濃毎日新聞へのリークを含め、引きずり下ろそうと画策していました。これは事実です。村内には目立つ協力者が数人います。

熊谷村長は、仕方なく岡庭一雄氏の負の遺産の後処理に追われることになっているということです。

現在は、新たな選挙により、真つ当な議員が集まり、阿智村のための議会が進められる方向が見えてきました。熊谷議長は共産党ではありません。岡庭一雄氏による院政と戦いつつ、村政の健全化を目指している一人です。

岡庭一雄氏は政権を取り戻したく、今でも、身内を含め覇権を目指しています。

章文さんの純粋な阿智村愛を期待して、お便りの返事としたいと思います。